

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	農林業者研修集会施設管理運営費					
担 当 課 係 名	角館総合窓口 課		振興 係		作成者	黒沢系子
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	森林の整備と林業の振興				
	主要施策	農林業体制整備と林業生産活動の活性化				65
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産費	1 項 農業費	6 目 農業施設費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分			
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市農林業者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	農林業の振興発展を図り市勢の産業及び健康、福祉の増進のための施設
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	農林業の経営技術の研修と営農相談、農林産物加工実習等生活改善を図るための研修活動 施設の業務管理を一部管理人に委託をしている。

【事務事業の推移】

(単位:千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	施設活動可能日数(3施設)	日	1,077	1,076	
		施設活動時間(3施設実績)	H	6,617	5,785	
	成果指標	施設利用人数(3施設実績)	人	9,717	9,188	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			3,529	3,080	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		104	33	
		一般財源		3,425	3,047	
	人件費(B)		—	2,356	2,421	
		職員数	—	0.30	0.30	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	5,885	5,501	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	5,464	5,112	
			—	889	951	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	185	175	

【事務事業の今までの成果】

地域密着型施設のため一部を除き稼働率60%を超えておる、しかし施設の老朽化が進み維持管理に支障をきたしている状態である。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	農林業の振興と生産活動の活性化のため地域施設として提供

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	農林業経営技術の研修、営農相談生活改善等農林業振興のため多目的に利用している。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	農林業経営など多目的に利用している。しかし、一部施設については利用実績が低い施設も見られるが、引き続き事業としては必要と考える。

一次評価診断図

